

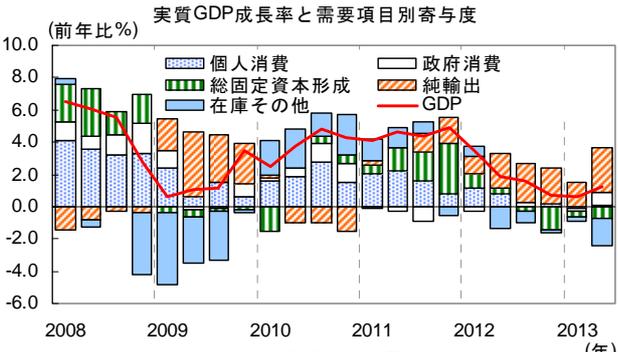
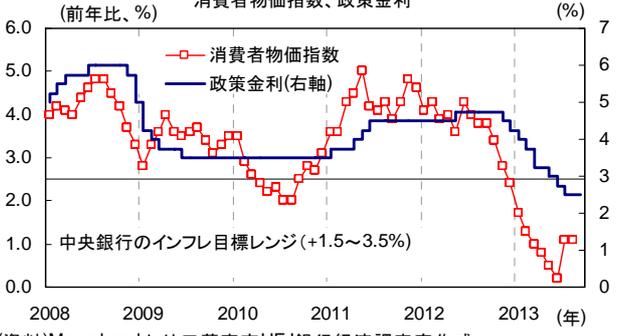
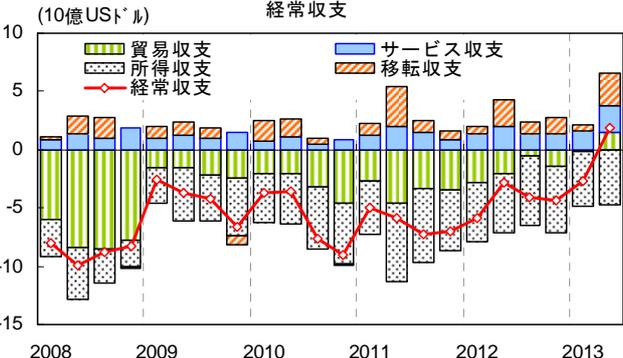
ポーランド経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Poland)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	消費/消費者心理
<p>ポーランド経済には持ち直しの動きがみられる。ユーロ圏経済の後退や、雇用情勢悪化を受けた個人消費の冷え込み等を受け、ポーランド経済は 2012 年以降減速してきた。しかし、最大の輸出先であるドイツの成長加速等を受けた外需の伸びを背景に、第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前年比+0.8%と前期を上回った。一方、内需は、個人消費に持ち直しの兆しが出始めているものの、依然として基調は弱い。今後については、製造業の購買担当者指数が、足元 2 ヶ月連続で拡大・縮小の分岐点である 50 を上回るなど、生産には明るい材料が出てきている。ただし、中国など新興国経済の減速や、ユーロ圏経済の回復が緩やかなものに止まると予想されていることなどを鑑みると、輸出の力強い回復は望みにくい。内需については、インフレ率が引き続き低水準で推移していることは好材料といえる。しかし、失業率は依然として高水準にあるほか、消費者マインドも低水準にあり、消費の本格的回復はしばらく先となることが予想される。内需低迷を受け、ポーランド中央銀行は 2012 年 11 月以降、断続的に計 2.25%ポイントの利下げを実施してきた。しかし、米 FRB による金融緩和規模の縮小観測を受けた新興国からの資金流出懸念等を受け、8 月以降、金利は 2.5%に据え置かれており、中銀による金融緩和サイクルは終了したとの見方が強くなっている。</p>	<p>7 月の実質小売売上は前年比+4.3%となり、前月の同+2.6%から加速した。消費者信頼感指数は低インフレや中銀による利下げ等を背景に底打ちしており、8 月は 2 ヶ月連続の上昇となった。ただし、依然としてその水準は低い。8 月の失業率が 13.0%と、前年同月の 12.4%から悪化していることも鑑みると、家計を取り巻く環境は引き続き厳しく、消費の持続的な回復には今しばらく時間を要すると考えられる。</p>
<p>GDP</p>	<p>物価</p>
<p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前年比+0.8%と、前期の同+0.5%から加速した。前期までと同様、外需が全体の伸びを押し上げた。輸出先の 4 分の 1 を占めるドイツ経済の持ち直しを背景に、輸出の伸びは同+5.4%に加速した一方、内需は引き続き低調であったことから、輸入は同▲0.9%となった。個人消費については、同+0.2%と依然として基調は弱い。総固定資本形成は、昨年、サッカー欧州選手権開催に関連してインフラ投資が増加した反動等により、同▲3.8%の減少となり、全体を押し下げた。</p>	<p>8 月の消費者物価上昇率は、前月から横ばいの前年比 1.1%となり、ポーランド中央銀行の目標レンジ(1.5~3.5%)の下限を 7 ヶ月連続で下回った。中銀では、国内経済の基調は依然弱く、また世界的な需要回復も緩やかなものにとどまるとの見通しから、インフレ率は 2014 年末までは目標レンジを下回る状況が続くとの観測を示している。また、中銀は 7 月の利下げを最後に、金融緩和サイクルの終了を示唆した。今後も国内外ともに景気回復ペースは緩慢なものとなることが予想されることから、金利は長期間にわたって低水準にとどまるとしている。</p>
<p>実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p>  <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>消費者物価指数、政策金利</p>  <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>生産</p>	<p>国際収支</p>
<p>8 月の鉱工業生産は、前年比+2.2%となり、前月の同+6.3%からは減速したものの、3 ヶ月連続で前年水準を上回った。内訳を見ると、製造業が同+2.3%に減速した。8 月の製造業の購買担当者指数(PMI)は 52.6 と前月から 1.5 ポイント上昇し、2 ヶ月連続で 50 を上回った。新規受注は輸出向けを中心に回復傾向にあり、今後も生産は底堅く推移すると考えられる。また、生産増を受けて雇用も 1 年ぶりに増加に転じた。</p> <p>8 月の建設業生産は前年比▲11.1%となり、大幅な落ち込みが継続している。新規住宅建設許可件数が依然として前年比で減少していることを鑑みると、建設業の低迷は今後も続くと考えられる。</p>	<p>ポーランドは継続的に経常赤字を抱えてきた。背景には、内需主導型の経済であることから財貿易収支が赤字となってきたことや、海外企業が多く、これらの企業による海外送金で所得収支が恒常的に赤字となっていることがある。しかし、国内需要の冷え込みによる大幅な輸入減で財貿易赤字の縮小が進み、今年第 2 四半期には財貿易収支が 15.5 億ドルの黒字に転じたことから、経常収支は 18.9 億ドルの黒字となった。財貿易収支の内訳をみると、輸出が外需の持ち直しで前年比+9.2%となった一方、輸入は同+1.2%となった。サービス収支と移転収支における黒字(それぞれ 22 億ドル、28.3 億ドル)と、所得収支における赤字(46.8 億ドル)については、前年からほぼ横ばいとなった。</p> <p>経常収支</p>  <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>

ポーランド経済・金融概況

1. 年、四半期

	2010	2011	2012	12/Q2	12/Q3	12/Q4	13/Q1	13/Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	469.5	515.3	489.9	117.2	119.0	139.5	120.1	123.0
実質GDP成長率 (y/y, %)	4.7	4.9	0.7	2.3	1.3	0.7	0.5	0.8
(民間消費支出) (y/y, %)	3.7	1.4	▲ 0.2	1.3	0.2	▲ 0.2	0.0	0.2
(総固定資本形成) (y/y, %)	2.2	10.0	▲ 4.1	1.4	▲ 1.7	▲ 4.1	▲ 2.0	▲ 3.8
鉱工業生産 (y/y, %)	11.0	7.2	1.4	2.9	0.2	▲ 2.3	▲ 1.6	1.3
小売売上(実質) (y/y, %)	3.3	6.8	3.1	2.9	1.8	▲ 0.8	0.4	1.3
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	8.4	13.4	1.5	9.3	4.0	1.5	3.5	3.5
消費者物価上昇率 (y/y, %)	2.6	4.3	3.7	4.0	3.9	2.9	1.3	0.5
名目賃金上昇率 (y/y, %)	3.6	4.9	3.5	3.8	2.2	2.6	2.0	2.2
失業率 (%)	12.1	12.4	12.8	12.6	12.4	12.9	14.3	13.6
貿易収支 (百万米ドル)	▲ 18,281	▲ 21,796	▲ 13,730	▲ 3,923	▲ 1,904	▲ 3,407	▲ 1,328	661
輸出額 (百万米ドル)	159,421	188,424	185,307	45,117	45,653	48,465	48,161	48,355
輸出伸び率 (y/y, %)	17.4	18.2	▲ 1.7	▲ 8.7	▲ 4.9	5.6	4.4	7.2
輸入額 (百万米ドル)	177,701	210,220	199,037	49,040	47,557	51,872	49,488	47,695
輸入伸び率 (y/y, %)	19.5	18.3	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 10.8	1.5	▲ 2.3	▲ 2.7
経常収支 (百万米ドル)	▲ 24,064	▲ 25,039	▲ 17,128	▲ 2,805	▲ 4,134	▲ 4,308	▲ 2,729	1,899
資本収支 (百万米ドル)	50,073	40,155	30,961	7,175	8,634	6,528	7,042	1,192
対内直接投資 (百万米ドル)	14,459	18,683	3,007	1,470	1,378	2,590	488	▲ 4,964
外貨準備高 (百万米ドル)	88,822	92,647	103,396	96,160	99,852	103,396	103,568	102,922
対外債務残高 (百万米ドル)	317,132	320,637	364,973	332,123	353,445	364,973	356,879	-
株価指数	42,789	44,558	41,613	39,339	41,561	44,856	46,725	45,626
短期金利 (interbank3m)	3.94	4.54	4.91	5.03	5.06	4.57	3.78	2.98
長期金利 (Gov.10y bond yields)	5.78	5.96	5.00	5.38	4.91	4.21	3.94	3.58
Zloty/USD	3.02	2.97	3.26	3.32	3.31	3.17	3.15	3.22
Zloty/Euro	3.99	4.12	4.18	4.26	4.14	4.11	4.15	4.20
Zloty/GBP	4.66	4.75	5.16	5.25	5.23	5.09	4.89	4.94

2. 月次

	13/01	2	3	4	5	6	7	8
鉱工業生産 (y/y, %)	0.3	▲ 2.1	▲ 2.9	2.7	▲ 1.8	3.0	6.3	2.2
小売売上(実質) (y/y, %)	2.4	▲ 1.3	0.0	0.1	1.2	2.6	4.3	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	3.7	3.8	3.5	2.4	1.5	3.5	3.9	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	1.7	1.3	1.0	0.8	0.5	0.2	1.1	1.1
名目賃金上昇率 (y/y, %)	0.4	4.0	1.6	3.0	2.3	1.4	3.5	2.0
失業率 (%)	14.2	14.4	14.3	14.0	13.5	13.2	13.1	13.0
貿易収支 (百万米ドル)	▲ 474	186	▲ 1,024	438	▲ 318	540	▲ 186	-
輸出額 (百万米ドル)	15,848	16,132	16,166	16,787	15,370	16,193	16,555	-
輸出伸び率 (y/y, %)	10.1	5.8	▲ 2.6	9.9	1.6	9.8	11.8	-
輸入額 (百万米ドル)	16,322	15,946	17,190	16,349	15,687	15,653	16,741	-
輸入伸び率 (y/y, %)	3.0	▲ 6.3	▲ 4.0	▲ 1.0	▲ 6.6	▲ 0.7	6.5	-
株価指数	47,570	46,356	46,152	44,325	45,775	46,886	45,924	49,122
短期金利 (interbank3m)	4.03	3.80	3.49	3.29	2.88	2.74	2.70	2.70
長期金利 (Gov.10y bond yields)	3.91	3.99	3.93	3.50	3.28	3.95	3.97	4.30
Zloty/USD	3.114	3.121	3.208	3.176	3.222	3.251	3.266	3.177
Zloty/Euro	4.139	4.170	4.158	4.138	4.179	4.284	4.275	4.230
Zloty/GBP	4.975	4.833	4.836	4.870	4.921	5.025	4.964	4.920

(注)貿易収支は通関ベース

(資料)ポーランド中央銀行、Macrobond、ブルームバーグ他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。